

作品展に向けて

対象児:4歳児きく組

作成者:八木京香

作成日:2024年1月22日

ねらい:海の中のイメージを広げながら製作活動を楽しむ。



振り返り:作品展のテーマが「海」ということで、海のイメージや海の中には何があるのかをみんなで話し合いながら活動を進めています。年中児は、個人製作でくらげとサンゴ礁を表現しています。いろいろな素材に触れながら、くらげをイメージして取り組む姿が見られました。サンゴはレースペーパーにカラーペンで模様を描き、霧吹きでシュッシュとしました。滲んでいろいろな色が混ざって「虹色みたい」と話しながらサンゴを表現していました。アート活動の時間にはレースペーパーで染めた物、好きな色で丸の形に切った画用紙、花紙やモール、リボン等いろいろな素材の中から自分の好きな素材を集めていました。イメージが出来るように、海の絵本やサンゴ礁の図鑑を見える所に置き、「サンゴ礁はどこにある?」「どんな形かな?」「どんな色かな?」と尋ねました。最初はイメージがつかなかった様子ですが、製作していく中で「サンゴ礁は海の深い所にあるんだ」「なんかモコモコしているね」「綺麗な色だね」といった声が聞かれ、子ども達との会話を楽しみながら活動していきました。よりサンゴ礁に見立てる為、花紙を開くということにも挑戦しました。「上手く開けない」という声が聞かれたので、少し手伝っていくと自分達でコツをつかんだようで開くことが出来ていたのが驚きました。一人ひとりが自由に表現していて、子ども達にどんな風にしたいのか聞きながら関わっていきました。他にも色がついたビニール袋を貼り合わせて、スズランテープやマスキングテープを貼って、「大きい波」「小さい波」を表現して海の製作も楽しみました。製作をしていく中で友達と声を掛け合って協力したり、自分の作品だけではなく友達の作品にも興味を持って声を掛けている姿が見られ、このような成長を感じながら、私自信子ども達と楽しみながら「海」の世界を表現出来るように作品を完成させていきたいと思ひます。(協同性、社会生活との関わり、思考力の芽生え、数量・図形文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)